

「(仮称)岐阜市民病院新改革プラン(案)」に対していただいたご意見と岐阜市の考え方

・ 募集期間：平成28年12月27日～平成29年1月26日

・ 意見提出数（意見件数）：2通（3件）

通番	ご意見の要旨	岐阜市の考え方	プラン修正
1	クリニックとの遠隔診療に取り組んではどうか。	<p>・ 遠隔診療につきましては、現段階では具体的なプランはありませんが、いずれ、双方向の情報交換が可能となれば、遠隔診療の対応も視野に入れた連携も可能になると思われまます。今後、国、県の動向、通信環境の普及状況等を注視してまいります。</p> <p>なお、平成27年5月にクリニック等から病院電子カルテ情報の閲覧が可能となるITネットワーク「ぎふ清流ネット」が開始されており、市民病院も開始当初から参加し、診療情報の提供を行っています。</p>	無
2	患者が緊急な状況でも治療に要する情報の収集ができる仕組みを構築してはどうか。	<p>・ 市民病院においては、現在、岐阜県内で取り組まれているGEMITS（救急医療支援情報流通システム）に参加しています。</p> <p>・ 平成26年8月から、市民病院医師が疾病に応じ所持することを推奨する患者さんを対象に、メディカカード（※）を発行しております（平成28年3月末現在、2,337枚）。引き続き、普及に努めていきたいと考えています。</p> <p>（※）メディカカード</p> <p>・ 氏名、生年月日、連絡先、病歴、処方、アレルギー等の情報が入った、持ち歩くことができる医療情報カード</p> <p>・ 岐阜県内の救急車には、メディカカードを読み取る端末が配備されており、救急搬送の際はカードから必要な情報を読み取ることができるので、迅速な処置が受けられる。</p>	無
3	<p>岐阜市民病院は高度急性期医療の中で救急に特化し、各医療機関と連携をとるハブ的な役割を行うことが望ましい。</p> <p>救急医療の窓口としての役割をしっかりと担うことは、医療機関からの要求でもあり、地域連携の観点からも非常に重要である。</p> <p>県の地域医療構想においても、岐阜圏域の急性期医療の中心的役割を担うこととされている。</p> <p>専門領域がよりアプローチすべき症例については、地域医療構想を前提にすれば今以上踏み込む必要はなく、総合的に診療する必要のある患者さんについては地域包括ケアシステムの中で支えていくことがよい。</p>	<p>・ 救急患者に対応できるよう、「断らない救急」として救急医療体制を更に充実していくように考えております。</p> <p>あわせて、高度急性期病院並びに地域医療支援病院として、引き続き、地域医療機関との連携による切れ目のない「地域完結型」医療の提供を目指し、地域の中核的な病院としての役割を果たしていきたいと考えております。</p>	無

◆実施機関におけるパブリックコメント時の素案からの変更点

通番	変更点
1	P23～26「Ⅱ 改革プランの策定－3 経営の効率化－（1）数値目標の設定」における各数値について精査し、変更しました。
2	P27「Ⅱ 改革プランの策定－3 経営の効率化－（2）収支計画」における各数値について精査し、変更しました。
3	P27「Ⅱ 改革プランの策定－3 経営の効率化－（2）収支計画」における<収益的収支>の表中の区分「累積欠損金(G)」を正確な表現にするため「繰越利益剰余金(G)」へ変更しました。
4	P30「Ⅱ 改革プランの策定－5 経営形態の見直し－（3）経営形態の見直し」における文中の「当面は、」をより適切な表現にするため削除しました。